

前回の会議のまとめ

ボランティア人材の育成について

- ・各地域まちづくりセンターでは、いろいろな人が活躍できる舞台を整えていっている。まちづくりセンターに人を繋いでいく、という視点を持って人材を養成してほしい。
- ・大学生の立場からすると、いきなり地域のコミュニティに入り込むのはハードルが高い。小さなきっかけやフラットに参加できる環境があると、大学生も高校生も中学生も参加しやすい。
- ・若いボランティアを増やすことも大切だが、ライフスタイルが変化する中で、年齢に限らず、何かしたい人の想いを発揮できる場所を作っていくことが大切である。

地域まちづくりセンターは地域づくりの中心
フラット（ふらっと）参加できる場づくりも必要
何かしたい人の想いを発揮できる場づくり

- ・ボランティアを増やしていくことも大切だが、そのボランティアの中から、核になって活動を支えたり、後継者になってくれるような人を育てていくことも課題である。

核となって積極的に活動する人材の必要性

- ・ボランティアの方々を地域に繋いでいくときには、「なぜその活動が大事なのか」という点を多くの方と共有していく必要がある。
- ・自分にも何かできることがあるかもしれない、と感じる機会が幅広く生まれることを願っている。

活動内容の大切さ（例えば読書なら読書の大切さ）の共有
活動自体の大切さ（その人がそこで活動することの意義）の共有
想いの共有・伝播